

Mizuho Daily Market Report

2024/3/7

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	149.54	149.38	▲0.67	▲1.31
EUR	1.0862	1.0899	+0.0042	+0.0061
AUD	0.6518	0.6564	+0.0061	+0.0068
SGD	1.3412	1.3388	▲0.0040	▲0.0074
CNY	7.1993	7.1975	+0.0010	▲0.0005
MYR	4.7285	4.7323	▲0.0029	▲0.0387
THB	35.71	35.69	▲0.12	▲0.36
IDR	15714	15700	▲69	+15
PHP	55.87	55.88	▲0.09	▲0.36
INR	82.90	82.83	▲0.07	▲0.10
VND	24708	24680	▲13	+52

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.102%	▲5.0 bp	▲16.2 bp
日本(10年)	0.717%	+1.0 bp	+1.7 bp
ユーロ圏(10年)	2.322%	▲0.1 bp	▲13.7 bp
オーストラリア(5年)	3.662%	▲6.3 bp	▲11.8 bp
シンガポール(5年)	2.994%	▲1.2 bp	▲4.9 bp
中国(5年)	2.188%	▲4.0 bp	▲3.5 bp
マレーシア(5年)	3.557%	▲1.2 bp	▲3.7 bp
タイ(5年)	2.239%	▲0.6 bp	▲1.4 bp
インドネシア(5年)	6.501%	▲2.0 bp	+2.3 bp
フィリピン(5年)	6.081%	+0.1 bp	+0.4 bp
インド(5年)	7.071%	▲1.0 bp	▲0.5 bp
ベトナム(5年)	1.460%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,661.05	+0.2%	▲0.7%
N225(日本)	40,090.78	▲0.0%	+2.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,915.49	+0.5%	+0.6%
ASX(オーストラリア)	4,199.15	+0.5%	+1.0%
FTSTI(シンガポール)	3,136.14	+0.9%	▲0.1%
SSEC(中国)	3,039.93	▲0.3%	+2.8%
SENSEX(インド)	74,085.99	+0.6%	+2.5%
JKSE(インドネシア)	7,329.80	+1.1%	+0.0%
KLSE(マレーシア)	1,531.51	▲0.4%	▲0.9%
PSE(フィリピン)	6,878.54	▲0.4%	+0.0%
SETI(タイ)	1,370.55	+0.8%	▲0.8%
VNINDEX(ベトナム)	1,262.73	▲0.6%	+0.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	278.12	+0.8%	+1.0%
金	2,148.18	+0.9%	+5.6%
原油(WTI)	79.13	+1.3%	+0.8%
銅	8,484.25	+1.0%	+1.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	148.60	—	150.40
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6590
USD/SGD	1.3300	—	1.3480
USD/CNY	7.1850	—	7.2280
USD/MYR	4.6960	—	4.8050
USD/THB	35.40	—	36.78
USD/IDR	15530	—	15800
USD/PHP	55.40	—	56.30
USD/INR	82.30	—	83.20
USD/VND	24,300	—	24,700

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は150円台前半でオープン。特段の材料はなかったが、パウエル議長の議会証言前のポジション調整か小幅軟調な展開。14時半過ぎには東京安値となる149円台後半まで下落し、そのままの水準でクローズした。アジア通貨は大半が横ばい。米連邦準備理事会(FRB)のパウエル議長による議会証言を前に慎重ムードが広がった。

海外市場のドル円は149円台半ばでNYオープン。NY朝方に発表された米2月ADP雇用統計が予想を下回り、ドル売りがやや先行。続いて発表されたパウエル議長の議会証言の原稿にて、「利下げにはインフレに関するさらなる確信が必要」と利下げ姿勢を巡って慎重な姿勢の文言を受け、一時買い戻されるも長くは続かず、反落。その後発表された米1月JOLT求人数は市場予想を上回るも、先月より低下している結果が嫌気され、149円台前半まで続落。一方、同時に行われたパウエル議長の議会証言での質疑応答では、特段サプライズの発言は見られなかった。午後に発表された米地区連銀経済報告(ペーजूブック)では、「米経済活動は1月初旬以降、全体としてわずかに拡大した」との文言が見られ、米金利が戻す展開を横目に149円台半ばまで戻し、そのままの水準でクローズ。

【金利】

米金利市場は長期で特に低下し、イールドカーブはフラット化。朝方発表の2月ADP雇用統計や1月卸売在庫の発表が予想を下回ったことで、債券買いが強まっていたが、本日午前に行われたパウエルFRB議長の議会証言で、議長が年内の利下げを示唆する内容の発言をしたことで、買いはさらに強まり、金利は午前中の取引で大きく低下した。午後は売り戻しも見られたが、前日比はマイナスとなった。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。今朝方、公表された日本の実質賃金が13カ月ぶり水準に改善したことを受け、小幅に円高が進行。日銀の金融政策正常化に向けた期待の高まりから上値が重い展開となりそう。とはいえ、本日は新規失業保険申請件数、明日には雇用統計、来週には米CPIが控えていることもあり、慎重な値動きになりそう。

【本日の予定】

(日本) 1月 実質賃金総額 / 毎月勤労統計-現金給与総額
(日本) 2月 東京オフィス空室率
(日本) 国債入札(30Y)
(アジア) 1月 豪 持家住宅ローン / 住宅ローン額 / 投資家ローン額
(アジア) 1月 豪 貿易収支
(アジア) 2月 インドネシア 外貨準備高
(アジア) 2月 シンガポール 外貨準備高
(アジア) 2月 タイ 消費者景気信頼感
(アジア) 2月 フィリピン 外貨準備高
(アジア) 2月 中国 貿易収支 / 外貨準備高
(アジア) 2月 豪 外貨準備高
(アジア) マレーシア 金融政策会合
(欧州) 1月 独 製造業受注
(欧州) 2月 英 DMP 1年インフレ率予想
(欧州) ECB政策理事会
(欧州) ラガルドECB総裁会見
(米国) 1月 消費者信用残高
(米国) 1月 貿易収支
(米国) 2月 チャレンジャー人員削減数
(米国) 4Q 非農業部門労働生産性(確) / 単位人件費(確)
(米国) 4Q 家計純資産変化(確)
(米国) ハウエルFRB議長議会証言
(米国) 新規失業保険申請件数